



Topics

『裏磐梯の夏鳥たちに会おう』

6月23日(月)早朝6時よりカレッジ『裏磐梯の夏鳥たちに会おう』があいにくの雨の中、開催されました。講師はレンゲ沼・中瀬沼において定点観測している「えながの会」の皆さんです。前半はかなり雨足も強かったのですが、スタート直後のオオヨシキリの囀りに元気をもらうことができました。アオジの囀り・姿も確認。木道脇のアカゲラのあけた穴が多いハンノキ林にカラスの巣を確認し、今年の営巣はここでは少ないのを納得。ホオジロ・キビタキ・クロツグミの囀り・地鳴きを確認。後半は雨が止み、サンショウクイの巣穴を見たり、雲の切れた空にニュウナイスズメを見ることが出来ました。今までは、ノジコとアオジの声を聞くだけでしたが、電線に前後して姿を見せ、その違いを声・姿ともに確認できたことが大変勉強になったと参加者の方々より言われ、雨でもスタートして良かったと思えました。

やはり自然が相手のことです。何も無いことも、思わぬこともあるから楽しい観察会になりました♪

『裏磐梯の自然の成り立ちやその自然に適合してきた植生を学ぼう』

6月23日(月)午前10時よりカレッジ『裏磐梯の自然の成り立ちやその自然に適合してきた植生を学ぼう』～裏磐梯に入り込んできた外来植物をふまえて～が毘沙門沼を中心に開催されました。講師は、裏磐梯のことを知り尽くしている「裏磐梯エコガイドの会」の皆さんです。はじめに裏磐梯自然保護官・福原裕さんより外来生物・植物についての講義を受けました。外来植物と帰化植物の違いの説明があり、活発な質問がされました。後半は、毘沙門沼の周辺にある外来植物と帰化植物を中心に観察会が行われました。毘沙門周辺は、オオハンゴンソウ(外来植物)が多いところなので、実際に話を聞いて、見ることで、理解を深めることができました。



★お知らせ★

8月5日(火)午前8時30分より毘沙門沼周辺にてオオハンゴンソウの駆除作業を行います。

お問い合わせ：裏磐梯自然保護官事務所 TEL 0241-32-2221まで。

みんなで作って食べよう!『地産の食材を活かす料理で伝えるおもてなし』

7月6日(日)10時よりカレッジ、みんなで作って食べよう!『地産の食材を活かす料理で伝えるおもてなし』～プロに学ぶ野菜への和食的なアプローチ～が北塩原村保健センターにて開催されました。講師は昨年のおもてなし講座に続き郡山駅前の日本料理店『粋・丸新』の料理長の熊倉誠さんです。今年はプロならではの視点で地元の食材を使用した料理教室の開催となりました。

メニューはこれから旬を迎える食材で「JA会津いいで」提供のトマト、ナス、キュウリ、アスパラを使用した涼しげな料理ばかりです。先生が料理を器に盛られる度に、参加者からは、ため息や驚嘆の声が漏れ、カメラのフラッシュが光っていました。今まさに目の前でプロの料理人の手際の良さや盛り付けのセンスが輝いた瞬間でした。予定されていた四品の他に、急きょ先生と一緒に作る南瓜の炊きものが追加され、目からウロコの解説と共に上品で野菜の甘みたっぷりの滋味深い料理が完成しました。さらに、先生から当日使用した野菜の余りを使用して作った涼しげな一品もご馳走していただき、お腹も心も満たされた講座となりました。

食材を余すところなく大切に使うこと、いろんな視点で食材と向き合ってみること、調理することの意味など、簡単に聞こえる言葉の奥に大切なメッセージが数多くあった様に思います。

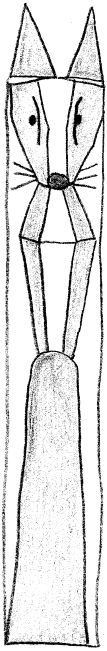
相手のために心を入れてしてあげること・・・『おもてなし』の意味がわかったような気がします。



共催の北塩原村保健センター、JA会津いいでと山塩を提供していただいた北塩原村商工会の皆様、ありがとうございました。



プロジェクト始動！！



去る6月24日裏磐梯エコツーリズム協会の総会が行われ、協会が発足し1年が経ちました。そこで今年は、いろいろなプロジェクトチームを結成し、協会の会員をはじめ、多くの方に呼びかけ、一緒に裏磐梯の未来を築いていきたいと準備をすすめています。

ぜひ、参加したい！一緒に考えたい！という方は、協会までご連絡をください。

1 ▲ 守り狐の製品開発プロジェクト

裏磐梯（桧原地域）には古くから木地型取りを生業とした木地師と呼ばれる人々が多く住んでいました。木地師は、職祖を文徳天皇の皇子、小野宮惟高親王とする由緒書や、山中を自由にかせぎ回れる免許状を持っていました。良材を求めて奥深く山に入る彼らは、山中に木地小屋を立て、そこに靈験あらたな森の守り神として、割り丸太一刀彫狐を祀る習わしがありました。守り狐は、木地師には良材を授け、里の人々には厄除け、福を授ける山からのみやげ、また、子供を守る木地玩具として、いろいろの傍で彫り続けられて来たものです。戦後、木地師たちの仕事が無くなると同時に守り狐を作ることもなくなり・・・現在では、守り狐は伝説の木彫りの置物として飾られているのみです。地域に古くから伝わる伝統の「守り狐」、また桧原筆記にも登場し地域を守ってきた、親しみのある「守り狐」。以前に商工会が村おこし産品として掘り起こしましたが、もう一度着目し、裏磐梯のシンボルとして蘇らせ、製品化することを目的とします。

今後は、クラフトの体験としての提供やグッズ（置物、箸置き、携帯ストラップなど）を作製し、PR、販売することにより、郷土のマスコットの存在になれるようにします。

2 ▲ 裏磐梯ガイドラインプロジェクト

裏磐梯の資源（自然、歴史文化等）の保全および持続的な活用のため、協会加盟団体をはじめ、関係諸機関、専門家等と協議し、「裏磐梯ルール（利用及び保全のためのガイドライン）」を制定します。

3 ▲ カレッジプロジェクト

裏磐梯の資源の発掘と共有および人材育成を目的とし、住民総ガイドを目指すエコツーリズムカレッジの来年度以降のカリキュラムや運営について、意見を求め、実際にカレッジを企画します。



9月はエコツアーフェスタ月間！！



プログラム紹介

①	みんなで楽しむネイチャーカヌー体験	
②	福島の名峰に登る「磐梯山・猫魔」(20~21日)	
③	福島を代表する日本百名山のうち3座に登る3日間 「安達太良・西吾妻山・磐梯山」(13~15日)	もくもく自然塾
④	初秋の夜空を楽しもう	
⑤	蘇った旧米沢街道ウォーキング	裏磐梯
⑥	裏磐梯入門トレッキング「レンゲ・中瀬沼」	エコガイドの会
⑦	フォトカルチャー	黒原 範雄
⑧	裏磐梯のおばちゃんと「やせうま」をつくろう	新井 真知子
⑨	高原を歩いてメタボ解消	裏磐梯高原2時間トライアル 実行委員会（もくもく自然塾）
⑩	裏磐梯の夜に遊ぼう	ペンションハイジ
⑪	「えながの会」野鳥観察会	
⑫	オカリナを吹いて裏磐梯の風になろう	裏磐梯
⑬	特別講義「裏磐梯の植生について」山田恒人 氏	エコツーリズム協会
⑭	ものづくり講習会	
⑮	檜原湖カヌー体験	アウトドアスポーツクラブ
⑯	ノルディックウォーキング	ボックス
⑰	講演「写真で見る磐梯山の噴火」佐藤 公 氏	エコツーリズムカレッジ
⑱	北塩原村健康づくり大学	北塩原村住民ふれあい課
⑲	「デコ平・百貴清水」ガイド付トレッキング	グランデコ・リゾート

詳しくは、パンフレットやポスターをご覧ください。

裏磐梯エコツアーフェスタを今年も開催いたします！なんと！9月の1ヶ月間は毎日のように楽しめるプログラムやエコツアーが満載です。お楽しみに！！

9月28日(日)会場イベント

休暇村裏磐梯多目的ホール

★エコブース開店！

★「そらとぶこころ。」

コンサート♪

★シンポジウム

「裏磐梯日和」のCDを発売している「そらとぶこころ。」さんのコンサートもありますよお♪

フェスタについてのお問い合わせ

TEL 0241-32-2511

北塩原村観光政策課 内

裏磐梯エコツアーフェスタ事務局